

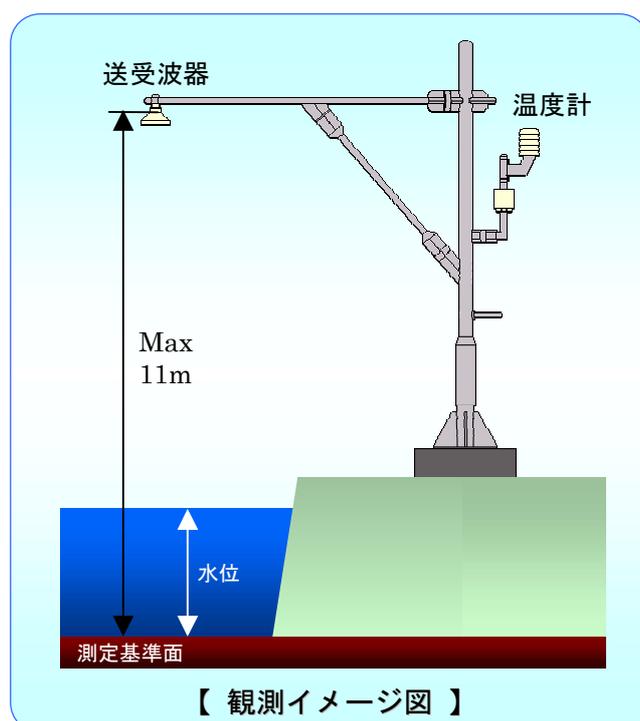


空中型超音波波高計 US-500



観測目的

- ◆ 波浪観測に
- ◆ 潮位観測に
- ◆ 海岸防災に
(津波観測、高潮観測、・・・)
- ◆ 船舶の入港管理に
(長周期波観測による接岸管理)



特 徴

- ◆ 海面変動を精度良く、長期に渡って安定した測定が可能
- ◆ 波浪はもとより検潮器では困難な各種長周期波の測定が可能
- ◆ 水中作業を伴わない方式ため、設置作業やメンテナンスが容易

標準機器仕様

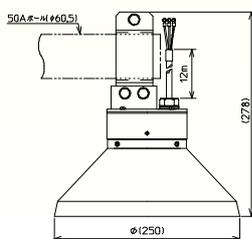
測定方式	: 表面波 超音波伝搬時間測定方式 温度 白金測温抵抗体による抵抗値検出 (自然通風方式)
超音波周波数	: 24kHz
測定範囲	: 送受波器設置点より1~11m(max) ※測定範囲は、環境条件により異なります
測定レンジ	: 表面波 0~5m 又は 0~10m 温度 -30~+50℃
外部出力	
アナログ	: 表面波 -1.0 ~ +1.0V (F.S) 温度 -0.6 ~ +1.0V
デジタル	: RS-232C
測定繰り返し	: 8回/秒
電源	: AC100V±10% 50/60Hz及びDC12V±10%

構成目録

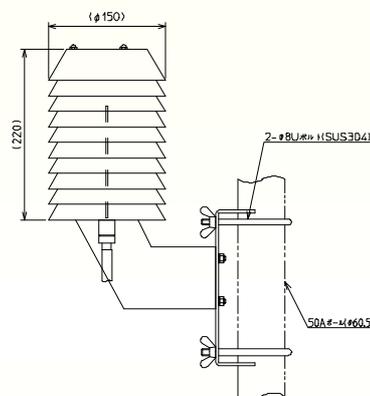
・送受波器	／TS-200	: 1台
・温度計発信器	／ST-51	: 1台
・接続端子箱	／JS-10A	: 1台
・本体	／US-500	: 1台
・付属品		: 1式
・オプション		
専用ケーブル		
10芯/ケーブル総延長100m未満		
6芯/ケーブル総延長500m未満		
8芯/ケーブル総延長1km未満		
ケーブル保安器	／JU-520	
データ処理装置		
波浪データ処理装置		
異常水位監視装置		

外形図

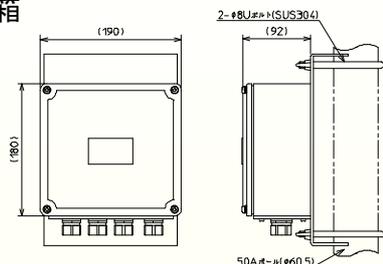
● 送受波器



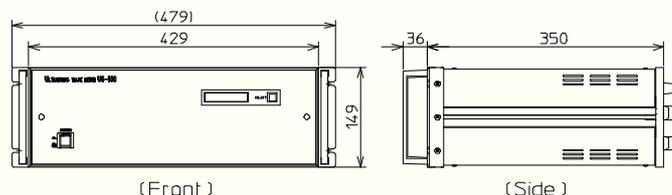
● 温度計発信器



● 接続端子箱



● 本体



- ・記載内容は、性能向上のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。
- ・ご相談、ご用命の際は、下記の販売グループにお問い合わせ下さい。